

☆YKS★history

『横浜建設業青年会のこれまでの活動紹介』

横浜建設業青年会は昭和52年に発足した歴史のある建設業の若手集団です。

その長い歴史の中で青年会ならではの活動が数多くあります。

今回は平成16年度に始まった『次世代育成事業』について紹介します。

次世代育成事業の目的の一つとして建設業の魅力と楽しさを数多くの人たちに知っていただくことがあげられます。

「建設業をより知っていただくことで、より身近に感じていただこう！」

「将来の建設家を育成し建設業が夢のある仕事だとわかってもらおう！」

そんな先輩たちの熱い思いから、この『次世代育成事業』が始まりました♪

平成16年度 菊嶋会長

横浜市立本町小学校（横浜市中区）



学校に残るもの。

子どもたちにとって思い出になるもの。

いろいろなプランを検討した中で校庭にベンチを造ることにしました。



↑学校にコンクリートミキサー車が登場

本物を間近にしてみんな大興奮

子どもたちの笑顔からたくさんの

元気をもらいました。



←初めての事業でも青年会のみんなの力をあわせて無事に終了！達成感あふれています。

平成18年度 根本会長

横浜市立下永谷小学校（横浜市港南区）

『守ろう資源！リサイクル』 をテーマに第二回目の次世代育成事業が行われました。
 新たな取り組みとして間伐材の利用やペットボトルを使つての物づくりがありました。



5年生を対象とした総合学習。環境モデル校でもある下永谷小学校で子供たちが中心になって作成した『トンボと富士山』のレリーフは小学校の池に飛んでくるトンボと校舎から見える富士山をイメージしています。



間伐材を切断
道志村から取ってきました



ペットボトルの型枠で
コンクリート柱をつくるぞ！



測量体験！
望遠鏡・・・かな？



今回もみんな笑顔で無事終了。
計画に半年以上かかりました。

平成19年度 工藤会長

横浜市立常盤台小学校（横浜市保土ヶ谷区）

リ・デザイン
『建設業の魅力再生プロジェクト』

子供たちだけでなく社会に出ていく大学生も一緒になって

参加しました。過去最大級の規模で多くの人たちに建設業の魅力を伝えました。



青年会が施工者

小学生がお客さん



大学生が設計者

こんな関係を築き
子どもたち主体の
学校づくりが
スタートです！



とんぼ畑とだんだん広場
仕上げは子供たちも参加しました

